



令和3年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

令和3年2月9日

上場会社名 株式会社ファルコホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 4671 URL <http://www.falco-hd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安田 忠史
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理室副室長 (氏名) 大馬 久幸 TEL 075-257-8585
 四半期報告書提出予定日 令和3年2月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 令和3年3月期第3四半期の連結業績（令和2年4月1日～令和2年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
3年3月期第3四半期	31,949	△2.6	1,579	144.3	1,721	133.4	925	△33.5
2年3月期第3四半期	32,787	△2.2	646	△46.6	737	△48.2	1,392	61.6

(注) 包括利益 3年3月期第3四半期 1,309百万円 (△16.6%) 2年3月期第3四半期 1,570百万円 (277.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
3年3月期第3四半期	89.14	88.73
2年3月期第3四半期	130.67	129.99

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
3年3月期第3四半期	36,614	19,325	52.6
2年3月期	31,957	18,893	58.8

(参考) 自己資本 3年3月期第3四半期 19,243百万円 2年3月期 18,794百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2年3月期	—	23.00	—	25.00	48.00
3年3月期	—	24.00	—		
3年3月期(予想)				26.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正については、本日（令和3年2月9日）公表いたしました「令和3年3月期 配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 令和3年3月期の連結業績予想（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,500	△1.6	2,000	137.7	2,100	123.0	1,300	4.6	125.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	3年3月期3Q	11,280,177株	2年3月期	11,280,177株
② 期末自己株式数	3年3月期3Q	913,646株	2年3月期	697,716株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	3年3月期3Q	10,380,481株	2年3月期3Q	10,655,757株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大を受けて、徐々に再開していた経済活動も再び景気悪化への懸念が広がり、ワクチン接種への期待が高まるものの依然として収束の見通しが立たない厳しい状況が続いております。

当社グループを取り巻く受託臨床検査市場では、市場の成熟化を受け、厳しい競争環境が依然として続いております。調剤薬局市場では、厚生労働省による「患者のための薬局ビジョン」を踏まえ、患者本位の医薬分業の実現に向けて機能の充実が求められつつ、調剤報酬及び薬価の改定による影響を受けております。

当社グループでは、このような事業環境のもと、臨床検査事業及び調剤薬局事業の収益力の強化を図るとともに、将来の事業環境の変化を見据えた事業展開を進めてまいりました。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響につきましては、当社グループは社会インフラとしての医療を支えるべく、関西地域を中心とした新型コロナウイルス感染症関連検査を積極的に受託し、グループの人的資源・検査能力をフル活用して検査を継続的に実施致しました。これにより11月以降の新型コロナウイルス関連検査の受託が著しく伸張しました。

一方で医療機関を受診する患者数の減少により、臨床検査事業の受託検体数・調剤薬局事業の処方箋応需枚数ともに大きく影響を受けましたが、昨年の緊急事態宣言解除後は、その影響は緩やかに戻りつつあり、当第3四半期連結会計期間において一定程度まで回復を致しました。

さらに前期より進めておりました全社的な固定費削減が次第に利益に対する効果を上げてきました。

その結果、当第3四半期連結累計期間においては、売上高は31,949百万円（前年同期比2.6%減）、営業利益は1,579百万円（同144.3%増）、経常利益は1,721百万円（同133.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は925百万円（同33.5%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 臨床検査事業

臨床検査事業につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、受託検体数が減少いたしました。6月以降は減少から緩やかに戻りつつあり、11月以降は新型コロナウイルス関連検査の受託が著しく伸張致しました。これに加え、売上拡大に向け、大都市圏を重点地域とした新規顧客の獲得に努めた他、クラウド型電子カルテ「HAYATE/NEO」をはじめ停滞していたサービス・商品の営業活動を順次再開しました。コスト面においては、検査再構築後の固定費削減を進めてまいりました。その結果、臨床検査事業の売上高は19,648百万円（前年同期比1.5%減）、営業利益は1,080百万円（同323.9%増）となりました。

② 調剤薬局事業

調剤薬局事業につきましては、かかりつけ薬剤師・薬局として求められる役割・機能を果たすとともに、高齢者施設及び在宅を中心とした地域医療との連携を進め、既存店舗の処方箋応需の拡大に取り組んでおります。当第3四半期連結累計期間における調剤薬局店舗数の増減はなく、当第3四半期連結会計期間末における当社グループが運営する調剤薬局等店舗総数は106店舗（フランチャイズ店6店舗含む）となっております。

調剤薬局事業においては、新型コロナウイルス感染症の拡大以降、長期処方への傾向にあり、受診患者数減少により処方箋応需枚数が減少した一方で、処方箋単価は安定的に推移しました。一方で、調剤原価等の固定費の削減に努め、堅実で効率的な店舗運営を進めてまいりました結果、売上高は12,313百万円（前年同期比4.1%減）、営業利益は675百万円（同16.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産は、主に現金及び預金が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ4,656百万円増加し、36,614百万円となりました。

負債は、主に長期借入金の増加により、前連結会計年度末に比べ4,223百万円増加し、17,288百万円となりました。

また、純資産は、主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により前連結会計年度末に比べ432百万円増加し、19,325百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和3年3月期の連結業績予想につきましては、令和3年1月26日の「業績予想の再修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和2年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和2年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,272	10,214
受取手形及び売掛金	6,044	6,448
商品及び製品	906	1,276
仕掛品	40	51
原材料及び貯蔵品	542	643
その他	1,512	1,349
貸倒引当金	△6	△7
流動資産合計	16,311	19,974
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,102	8,968
減価償却累計額	△5,123	△5,234
建物及び構築物(純額)	3,979	3,733
土地	4,727	4,610
リース資産	1,515	1,238
減価償却累計額	△589	△441
リース資産(純額)	925	796
その他	4,640	5,579
減価償却累計額	△3,957	△3,993
その他(純額)	683	1,585
有形固定資産合計	10,316	10,726
無形固定資産		
のれん	61	49
その他	604	519
無形固定資産合計	665	568
投資その他の資産		
その他	4,675	5,355
貸倒引当金	△11	△10
投資その他の資産合計	4,663	5,344
固定資産合計	15,646	16,639
資産合計	31,957	36,614

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (令和2年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和2年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,115	5,239
短期借入金	2,100	1,600
未払法人税等	383	381
引当金	422	186
資産除去債務	12	15
その他	2,599	3,549
流動負債合計	9,634	10,972
固定負債		
長期借入金	281	3,227
引当金	233	230
退職給付に係る負債	1,837	1,841
資産除去債務	143	129
その他	934	886
固定負債合計	3,430	6,315
負債合計	13,064	17,288
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,371	3,371
資本剰余金	3,391	3,387
利益剰余金	13,223	13,627
自己株式	△1,157	△1,492
株主資本合計	18,828	18,893
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△34	349
その他の包括利益累計額合計	△34	349
新株予約権	98	82
純資産合計	18,893	19,325
負債純資産合計	31,957	36,614

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自令和2年4月1日 至令和2年12月31日)
売上高	32,787	31,949
売上原価	23,470	22,118
売上総利益	9,317	9,830
販売費及び一般管理費	8,671	8,251
営業利益	646	1,579
営業外収益		
受取配当金	86	97
貸倒引当金戻入額	5	0
その他	56	94
営業外収益合計	148	191
営業外費用		
支払利息	10	23
支払手数料	18	4
支払補償費	20	—
保険解約損	—	12
その他	7	9
営業外費用合計	56	49
経常利益	737	1,721
特別利益		
固定資産売却益	—	30
投資有価証券売却益	25	83
受取保険金	1,928	—
特別利益合計	1,954	114
特別損失		
固定資産除却損	49	2
投資有価証券売却損	28	—
減損損失	80	142
新型コロナウイルス対応による損失	—	103
建設計画変更損失	—	22
解体撤去費用	41	—
検査再構築費用	460	—
その他	36	1
特別損失合計	697	271
税金等調整前四半期純利益	1,994	1,564
法人税、住民税及び事業税	671	646
法人税等調整額	△69	△7
法人税等合計	602	639
四半期純利益	1,392	925
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,392	925

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自令和2年4月1日 至令和2年12月31日)
四半期純利益	1,392	925
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	177	383
その他の包括利益合計	177	383
四半期包括利益	1,570	1,309
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,570	1,309

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成31年4月1日至令和元年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	臨床検査 事業	調剤薬局 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,931	12,839	32,771	16	32,787
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11	0	12	△12	—
計	19,942	12,840	32,783	4	32,787
セグメント利益	254	578	833	△186	646

(注) 1. セグメント利益の調整額△186百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△926百万円及び内部取引の消去に伴う調整額722百万円が含まれております。全社費用は、主に人事・経理部門等の管理費用及び建物の減価償却費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自令和2年4月1日至令和2年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	臨床検査 事業	調剤薬局 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,636	12,312	31,949	—	31,949
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11	0	12	△12	—
計	19,648	12,313	31,961	△12	31,949
セグメント利益	1,080	675	1,755	△176	1,579

(注) 1. セグメント利益の調整額△176百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△843百万円及び内部取引の消去に伴う調整額667百万円が含まれております。全社費用は、主に人事・経理部門等の管理費用及び建物の減価償却費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。